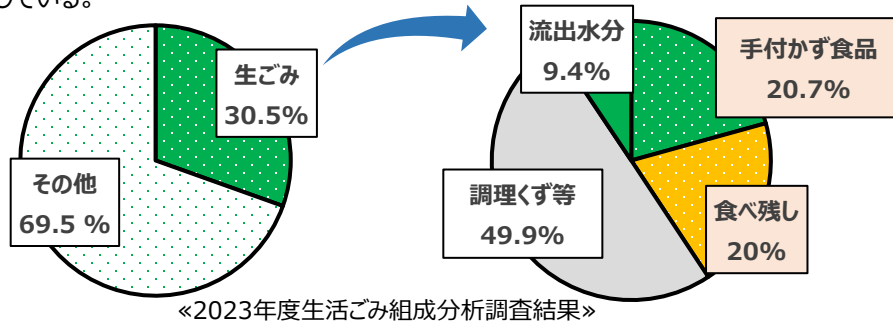


■背景・目的

- ・2021年3月「堺市一般廃棄物処理基本計画」改定の際、「食品ロスの削減の推進に関する法律」（2019年10月施行）の規定に基づき、食品ロス削減に向けた取組を重点的に推進するため、本市における食品ロス削減推進計画に該当する「**食品ロス削減の推進**」を新たに作成した。
- ・「食品ロスの削減」はごみの減量に大きく貢献することから、取組を効率的・効果的に推進するために進捗管理を毎年度行うこととした。

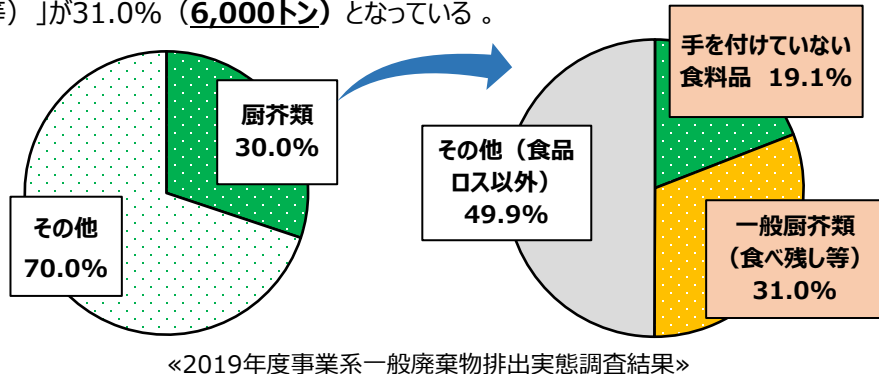
■食品ロスの現況①【家庭系食品ロス】

生活ごみ（138,700トン）の30.5%が生ごみで、そのうち「手付かず食品」20.7%（**8,700トン**）、「食べ残し」が20%（**8,400トン**）となっている。前回の2021年度調査より「手付かず食品」と「食べ残し」の割合は増加となったが、前年度より重量は減少している。



■食品ロスの現況②【事業系食品ロス】

事業系ごみ全体の30.0%が厨芥類であり、そのうち「手を付けていない食料品（作り置き、売れ残り、鮮度低下等）」が19.1%（**3,700トン**）、「一般厨芥類（食べ残し等）」が31.0%（**6,000トン**）となっている。



■評価指標と現況の比較

国の基本方針では、2017年度と比較して2030年度までに約20%削減となる数値が目標値として定められている。本市では、国の削減率を考慮し、2019年度の実績から評価指標である削減数値を算出した。

家庭系食品ロス量及び事業系食品ロス量は、前年度より減少している。

	2019年度	2023年度 (現況※)		2030年度 (最終年度)
家庭系食品ロス量	19,626t	17,181t		14,900t
		手付かず食品	食べ残し	
		8,736t	8,445t	
事業系食品ロス量	11,203t	9,670t		9,300t
合計	30,829t	26,851t		24,200t

※2023年度のごみ排出量に各調査結果（組成率）を乗じて算出

■2023年度取組実績

【家庭系食品ロス削減に関する取組】

- ・フードシェアリングサービス「TABETE」の推進（ユーザー数3,629人）
- ・食品ロスダイアリーの実施 ※実施人数はアンケート回収数
小学生対象：1,268人申込（561人実施※）
一般公募：136人申込（51人実施※）
- ・食品ロス動画の放映
（パネル展5回、デジタルサイネージ3箇所）
- ・パネルの展示（本庁舎、区民まつり等12回）
- ・食品ロス出前講座（3回42人）
- ・エコレシピコンテスト一般部門・学生部門の開催
- ・レシピ投稿検索サイト「クックパッド」に公的機関のページ（公式キッチン）を開設
- ・食品ロス特集記事を広報さかい掲載（10月号）

「エコレシピコンテスト
一般部門グランプリ作品」



【事業系食品ロス削減に関する取組】

- ・フードシェアリングサービス「TABETE」の推進（登録数8店舗）
- ・食品ロス削減に取り組むエコショップの拡大（1店舗増・登録数64店舗）
- ・食べきり協力店制度の啓発・登録店舗拡充（9店舗増・登録数85店舗）
- ・食品スーパーに手前どりPOP掲示（9事業者 49店舗）
- ・食べきり協力店にメールマガジンを発信（20店舗）
- ・期限切れ食品削減事業「順番につれてって」プロジェクトを食品スーパー9事業者で実施（応募総数471件）

「手前どりPOP」

